

2. 副首都・大阪の確立、発展に向けた戦略（1）

大阪が、副首都として、首都・東京とともに、他の大都市に先行するトップランナーと認められる存在となるため、戦略的に取組みを進めます。

【副首都の確立のために】

大阪のポテンシャルを踏まえ、大阪自らが副首都に必要な機能面、それを支える制度面での取組みを進めることにより、2020年頃までに副首都としての基盤を整えます。

この自らの取組みを推進力として、副首都化の取組みを支援する仕組みを国に働きかけ、副首都の確立を図ります。

【副首都としての発展のために】

世界で存在感を発揮する東西二極の一極、日本の成長エンジンとなる副首都として発展を遂げるためには、グローバルな競争力を向上させる必要があります。

そのため、万博や統合型リゾート（IR）のインパクトも活用して、経済成長面での取組みを並行して進めていきます。

